

【特 選】

人けんについて

鹿島小学校 三年 森田 友佳子

人けんについて、わたしは何も分からなかったので、調べてみました。

「人けんとは、だれもが生まれながらにしてもっている、人間としての、しあわせに生きていくためのけんりです。このけんりは、平気であり、けつしつばいじやばでできません。」

と書いてありました。そして、さまざまな人けんがある事が分かりました。

まず、わたしについての近い人けんは、学校です。元気なお友だちや、さぼりかたがちなお友だち、ゆい気があふ

お友だち、気もちのやましいお友だち、いろいろなお友だちがいます。みんなとなかよく楽しくすすむためには、お友だちのわる口をじとじと話したり、いやがらせや、なか間外れなどをしたりせずに、思いやりをもってみんなとなかよく話したりです。なせかじつじつ、思いやりをもってお話ししたら、その相手もうれしくなるし、わたしも心がすっきりするからです。学校に行くのも楽しくなって、おべんきょうも体育も楽しくてきょう、きょう食もみんなと楽しい時間になって、毎日がとてもあわせます。

そして、外国人の人けんもあふりました。国せき、みん族、ひらの色、言語、しゅう教、習かん、文化のちがいがあふからです。夏休みの間、お母さんのお仕事場について行く日がありました。うっわがたくわんかたつてあふギャラシーです。その日は、キキンスかひのおおあへん

がいらっしやいました。

「私の名前はサムです。」

と、えい語で教えてもらいました。黒人さんでした。わたしは、ちがうはだの色、わいしよはびっくりしました。が、わたしもがなびって、えい語でじいじやうがいをしました。サムさんは、じいじやうに聞くと、わたしは、とっつてもしじかかったです。

「せがいのいろんな国の人たちが、オリンピックのようじ、あつじよしもなが良かったですらうな。」と思えます。今じいじやうにせがなをいも、すてごるお家がいわだ、子ども大人もかわいそつなので、早く終わってほじります。命を大切にっつてほじります。

そつじ、思いやらを大切にっつて、みんななかよじやうにっつてほじります。

【特 選】

私の としのはなれた お友だち

鹿島小学校 三年 中山 愛菜

私は、六十オハひらひらの年のはなれたお友だちがいます。その人は、お茶やわんのおんわとります。

私は、小せうじよんから緑茶が大好きでした。じもじよんスパーの中にお茶やわんが入っつて、お茶を買いにっつたときじよ、お茶のじいんをせせてもらっつていました。よいち園の年中やわんのじよんからは、スーパーに行っつたじよ、お茶をのませてもらっつていました。お茶が好きなの小せうじよんもはめすらうじよんじよ、お店の店員やわんたちは私のじよんをおほえしつてっつてました。なので、一年生へらひらからお買っつてのじよんじよん行った時、お母やわんがじよんをっつておほえ

【準特選】

あいさし

七浦小学校 二年 安富 佳翔

ぼくは、学校で大きな声であいさしをするよじじい

ます。学校では、あいさしをするみんなに気があこ

ういわたのびんたうです。じい校中やまごじやぼ

知らない人に会ったじいがある。その時は、ぼくはちよ

うはるかして気もちになっとうまじい。あいさしをす

る声がにわななうじいもあるが、うしやがとぼんた

うしやわのよじじいじい。だじい、ぼくはあこ

をうまごうじいななうじいやぼのびん、回したうじい

うじいがある。

「ぼくの声はにわな、あこうじいを聞いてうまごうじい

から、あいさしをしてもらえなかったのかな。おじい

んやおばあちゃんだったの、もっと大きな声であい

をしていたら、へんじをしてもらえたのかな。ぼくの

を知ってる人だったら、へんじをしてくれたのかな。」

なうじいがある。

ぼくは、あいさしをうまごうじいがない、何だかな

う気もちになります。だじい、あいさしをするよ

なうじい、あいさしをしてもらったじいわう気もち

す。あじい、知っている人でも知らない人でも、同じ

うじいがある。

だから、じいからも、ぼくはだれにも大きな声で

うまごうじいやぼのびんたうじいがある。

【準特選】

びょうきのかぞく

七浦小学校 二年 竹下 真央

母の病はなるとは、体のちよつがむねなると、
ひやうしをひやうしとちよんじをひやうしと
おかあさんとのお話をきくと、うんとおなごのま
した。うんちをせうかしては、おんちを
ちやうがうがうかひやう。母は学校のロビー、うんち
をいかに作ってなます。母は、おなごの作っ
ていたおんちをいかにうんちをうんちと
おなごのうんちをいかにうんちと。
おなごのうんちをいかにうんちと、おんち

いたがうんちがたきみ、うんちをうんちと。ひや
うしを、うんちをうんちと、おなごのうんち
たかたけ、プロナとめをうんちと。うんちを、
「うんちをうんちと、うんちと。」
うんちをうんちと。

「おんち、うんちをうんちと。」
うんちをうんちと。

おなごのうんちが、カロかと、うんちをうんちと
した。母は、うんちをうんちと、おなごのうんち
おなごのうんちをうんちと。うんちをうんちと
おなごのうんちをうんちと、うんちをうんちと
うんちと。
うんちをうんちと、うんちをうんちと、
うんちをうんちと。

学校やまちや学校、みんなながよへしたいし、じまっ
ている人がいたら、すぐにたすけられる、そんな人であ
らうと思います。そこで、うじめやぶつがなへ、みんなが
すこやかであゆむことできるようにします。

「入けん」とは、どんなものかわかりませんが、その人
らしさを大切にできれば、みんなが笑顔ですこせるんじや
ないかと思います。

私は、友達をたすけたりしたらいいじめたりしない、なかの
らう友達をたすけたりして、いじめやかたのしいクラスを
しつらたうと思います。

